



# 緊急事態宣言の解除によって、消費者の参加意向は前向きになるため、対面調査の再開目途が立ちそう



Ipsos UUでは、[シンジケートコミュニティ](#)のメンバー達（20～60代の男女495名）に、「**緊急事態宣言が解除されて、どれくらい経過したら対面の調査に参加したいですか？**」と問いかけてみました！

その結果、「1週間後に参加OK」、「1か月後に参加OK」、「3か月以上経ってから」とする人が、それぞれ一定数見られました。



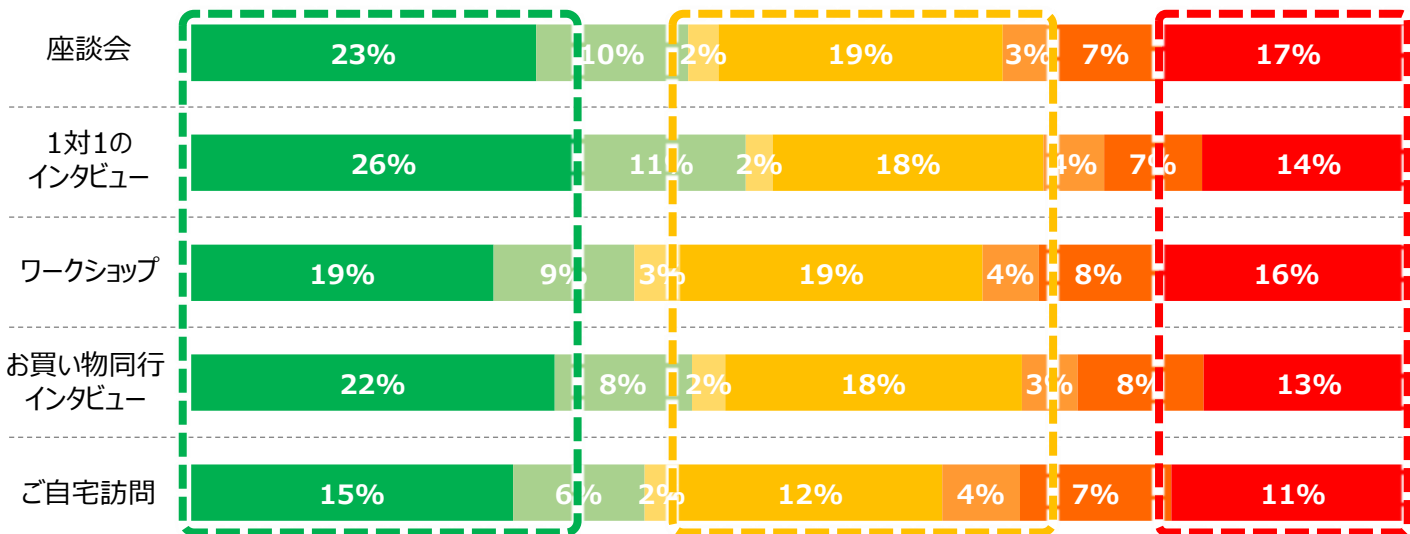
解除後、1週間後に参加OK



1か月後に参加OK

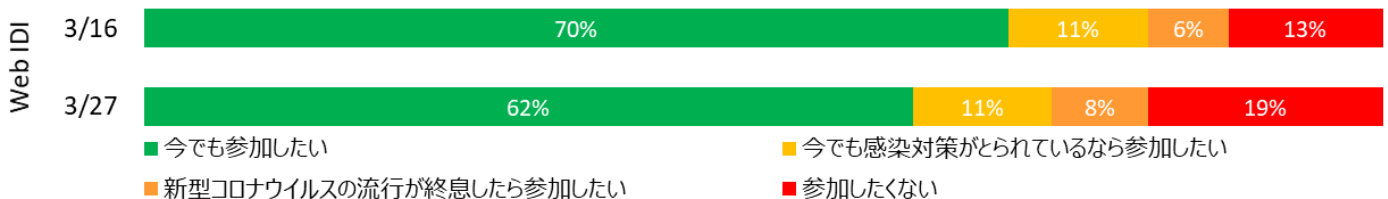


参加には3か月以上必要...



- 解除後、1週間経ったら参加したい
- 2週間経ったら参加したい
- 3週間経ったら参加したい
- 1か月経ったら参加したい
- 2か月経ったら参加したい
- 3か月経ったら参加したい
- 3か月よりさらに時間が経ったら参加したい

## 前回までの調査で、WebIDIへの参加意向も高いことが分かっています



“

一週間ではまだ早いかも知れないが、ずっと自粛で息が詰まるので、とりあえず動きたい！

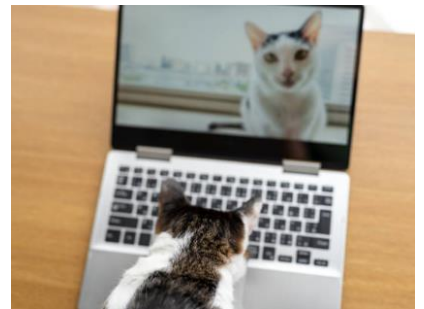


“

ついたてやシールドが有ったり、ソーシャルディスタンスを保てる環境があれば、解除後は参加したい。そういった設備はしばらくあって欲しいですね

“

終息する傾向が明らかであれば参加したいです。そうなれば、マスク、手洗い等で感染を防ぐことができるように思えます。それまではネットでのインタビューの方が安心感があります。



“

解除後どのくらいというより、自分の住んでいる地域や日本全体で明確に感染者数が減って、事態が収束に向かっていると感じられれば、対面の調査に参加したいです。

ぜひこの機会にイプソスUUのデジタル定性サービスをお気軽にお試してください！



詳細につきましては、担当までお問合せ下さい

イプソス株式会社 | <https://www.ipsos.com/ja-jp>

担当：野口 [junko.noguchi@ipsos.com](mailto:junko.noguchi@ipsos.com) | 内藤 [hisashi.naito@ipsos.com](mailto:hisashi.naito@ipsos.com)